

行政事業レビューシート (文部科学省)						
予算事業名	日本・OECD事業協力信託基金拠出金		事業開始年度	平成9年度		作成責任者
担当部局庁	大臣官房国際課		担当課室	国際課		国際課長 池原 充洋
会計区分	一般会計		上位政策	国際協力の推進		
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	-		関係する計 画、通知等	-		
事業の目的 (目指す姿を簡 潔に。3行程度 以内)	OECDにおける「生徒の学習到達度調査(PISA)」及び「OECD国際教育インディケータ(INES)事業」など教育分野の事業活動に参加し、我が国の教育政策上重要な課題の調査・研究を推進する。					
事業概要 (5行程度以 内。別添可)	「生徒の学習到達度調査(PISA)」及び「OECD国際教育インディケータ(INES)事業」を行うために各国に求められる資金を拠出する。PISAは、義務教育修了段階の15歳の生徒の読解力、数学的リテラシー、科学的リテラシーを主要3分野として調査を実施するもの。INESは、世界各国の教育制度や政策について共通の枠組みの中で比較対照する指標(インディケータ)を開発し、各国の教育政策の形成に役立てるものである。 (OECDに対する拠出。分担率は、各国の過去3年間のGNPを基に算出。)					
実施状況	2009年度 日本の分担率11.032% ・生徒の学習到達度調査(PISA):2000年に最初の本調査を行い、3年ごとのサイクル(①予備調査実施②本調査実施③調査結果の分析・公表及び次回調査設計)で実施している。 ・教育インディケータ事業(INES):「図表でみる教育(Education at a Glance)」「教育政策分析(Education Policy Analysis)」などを刊行。					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	131	135	109	109	109
	執行額	130	135	109		
	執行率	99.2%	100.0%	100.0%		
	総事業費(執行ベース)	130	135	109		
自己点検	支出先・ 使途の把 握水準・ 状況	OECD/CERIの定例会合(毎年春と秋に開催)に出席し、INES事業及びPISAの財政状況及び予算の執行状況の報告を受けている。				
	見直しの 余地	従前より定例会合において、予算を効率的に執行するよう我が国からOECD事務局に要請している。今後も、OECD事務局が予算を効率的に執行し、より透明性の高い予算執行となるよう、要請していく。				
予算 チームの 監視・効 率化	1. 事業評価の観点：この事業は、OECDにおける教育分野の事業活動に参加する際にOECDから求められる拠出金である。 2. 所見：本事業は、平成9年度から行っている長期継続事業ではあるが、「生徒の学習到達度調査(PISA)」及び「OECD国際教育インディケータ(INES)事業」をOECDが行うために、各国の過去3年間のGNPを基にそれぞれの国に拠出を求めるものであるため、現行において、見直しの余地はなく、現在の事業内容を引き続き維持すべきである。					
補 記						

日本・OECD事業協力信託基金拠出金

文部科学省
109百万円

【拠出金】

A.OECD: 109百万円

「OECD教育インディケータ事業
(INES)」及び「生徒の学習到達
度調査(PISA)」に参加するた
めの拠出金。

資金の流れ
(資金の受け取
り先が何を行っ
ているかについ
て補足する)
(単位:百万円)

A.OECD			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
拠出金	「OECD教育インディケータ事業(INES)」及び「生徒の学習到達度調査(PISA)」の事業運営に必要な経費	109			
計		109	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。使途と費目の双方で実情が分かるように記載)